

第10回 MaSC 技術交流会 “Real Exchange”

「ここからはじまるオープンイノベーション -自由闊達に若手と語る-」

2021

9/29(水) 13:15~17:15

Cisco Webex
にて Web 開催
参加費 無料

オーガナイザ：東北大学 流体科学研究所 鈴木 杏奈 助教
東北大学 産学連携機構 企画室 森 綾香 特任助教

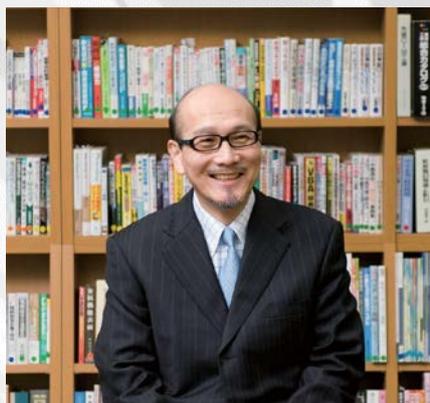
モデレータ：システム・インテグレーション 代表 MaSC 客員教授 多喜 義彦 様

パネリスト：システム・インテグレーション チーフコンサルタント 関根 誠 様
株式会社松尾製作所 執行役員 関富 勇治 様
および講演者の皆さま(9名)

プログラム：

- | | | | |
|---------------------------------------|----------------|--------------------|-------------|
| 1. 開会の挨拶 | MaSC センター長 | 古原 忠 教授 | 13:15~13:20 |
| 2. オーガナイザの挨拶 | 産学連携機構 企画室 | 森 綾香 特任助教 | 13:20~13:25 |
| 3. 登壇者のご紹介 | | | 13:25~13:30 |
| 4. 【基調講演】 | | | |
| 多喜 義彦 様 「ワープな開発」 ~知財六次産業化の時代に向けて~ | | | 13:30~14:00 |
| 5. 【若手研究者講演】 | | | |
| “私とイノベーション” | | | 14:00~15:10 |
| ① 学際科学フロンティア研究所 | 郭 媛元 助教 | (多機能ファイバ・センサ) | |
| ② 金属材料研究所 | 木須 一彰 助教 | (次世代エネルギーデバイス) | |
| ③ 材料科学高等研究所 | 工藤 朗 助教 | (マイクロ構造炭素材料) | |
| ④ 工学研究科 | 鴫田 駿 助教 | (新規固相接合法・接合メカニズム) | |
| ⑤ 多元物質科学研究所 | 石原 真吾 助教 | (破碎モデリング・粉体プロセス設計) | |
| ⑥ 流体科学研究所 | 武田 翔 助教 | (金属粉末接合メカニズム) | |
| ⑦ 工学研究科 | 許 晶 助教 | (形状記憶合金) | |
| ⑧ 学際科学フロンティア研究所 | 阿部 博弥 助教 | (白金代替燃料電池触媒電極) | |
| | ~休憩~ | | 15:10~15:20 |
| 6. 【特別講演】 | | | |
| 材料科学高等研究所 西原 洋知 教授 「大学発新素材の社会実装への取組み」 | | | 15:20~15:50 |
| 7. 【パネルディスカッション】 | | | |
| 若手研究者と産業界とのワープな討論 | | | 15:50~17:10 |
| 8. 閉会の挨拶 | 学際科学フロンティア研究所長 | 早瀬 敏幸 教授 | 17:10~17:15 |

多喜義彦 MaSC 客員教授 プロフィール



大学在学中の 1970 年、開発設計の受注を契機に創業。1988 年システム・インテグレーション株式会社を設立し、代表取締役役に就任。新事業開発のプランナーとして、事業の枠組みから製品の具体的仕様、販売計画に至るまで、これまでおよそ 1000 社(グループ、関連会社を含む)に及ぶ企業と顧問契約を結び、3000 件以上の開発テーマを創出してその支援に携わり、現在も 40 社以上の技術顧問を務める。

連載:「開発原理」「リアル言えない大事」「思考回路」(日経 xTECH (クロステック))、「BP通信」など多数著書:『新事業創出のための“言えない大事”』『ものづくり 無敵の法則』『価格競争なきものづくり』(日経 BP)、『開放特許で儲ける法』(日本実業出版社)、『超利益の材料は足元にある』(ダイヤモンド社) ほか

西原洋知 材料科学高等研究所 教授 プロフィール



東北大学 材料科学高等研究所 教授
東北大学 多元物質科学研究所 (兼任)
出身地:長野県松本市

2005 年(平成 17 年)3 月 京都大学大学院 工学研究科 化学工学専攻
博士後期課程修了、博士(工学)

2005 年(平成 17 年)4 月 東北大学多元物質科学研究所助手に着任

2011 年(平成 23 年)8 月 東北大学多元物質科学研究所准教授に着任

2020 年(令和 2 年)4 月 東北大学材料科学高等研究所教授に着任
(多元物質科学研究所教授を兼任)～至現在

2016 年(平成 28 年)9 月 Kasetsart University 特別招聘教授(兼任)

2017 年(平成 29 年)4 月～2018 年 3 月 University of Calgary
客員教授(兼任)

研究 Keyword: ナノカーボン, 炭素材料, 蓄電池, キャパシタ,
グラフェン, 吸着, 多孔質材料

参加お申込み方法

以下のとおりメールでお申込みください。

送信先:masc-renkei@grp.tohoku.ac.jp

件名:第 10 回 MaSC 技術交流会参加希望

本文:参加者ご氏名・ご所属機関名

申込締切:2021年9月24日(金)

※ 事前登録が必要ですので、お早めにお申込みください。
なお勝手ながら定員(200 名)に達し次第締め切らせて
いただきますので、ご了承の程お願いいたします。

主催 東北大学 産学連携先端材料研究開発センター (MaSC)
共催 学際科学フロンティア研究所
流体科学研究所
産学連携機構
学際融合グローバル研究者育成東北イニシアティブ
材料科学世界トップレベル研究拠点イノベーション創成ウイング
産学連携リエゾンネットワーク

お申込み・お問合わせ

東北大学 産学連携先端材料研究開発センター
Material Solutions Center (MaSC)
連携推進室
TEL:022-217-3826
E-mail:masc-renkei@grp.tohoku.ac.jp